

matohu



「まとう」。

身体を包み込むように軽やかに身にまとう服。

「待とう」。

消費して捨て去るのではなく、

自分らしい美意識が成熟するのを待とうという呼びかけ。

## ブランド・プロフィール

- 2005年 matohu ブランドスタート
- 2006年 JFW に参加。以後東京コレクションで発表。
- 2008年 スペインサラゴサ万博日本館制服デザイン。
- 2009年 毎日ファッション大賞新人賞・資生堂奨励賞を受賞。
- 2011年 表参道店オープン。
- 2012年 書籍『言葉の服』を出版。
- 2013年 インターナショナル・ウールマーク賞 日本代表。

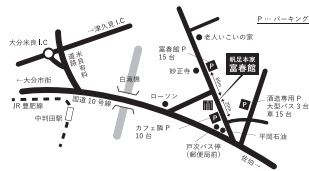
## デザイナー 堀畑裕之 関口真希子



©MartinHoltkamp

堀畑氏は大学で哲学を、関口氏は法律を学んだ後、文化服装学院で出会う。卒業後、堀畑氏はコム・デ・ギャルソン、関口氏は、ヨウジヤマモトにてパタンナーとしてパリコレクションに携わる。のち渡英、ロンドンコレクションの仕事に携わる。帰国後、matohu を設立。

パターンを大切に「服作り」と、綿密に組み立てられた「言葉」を大切に、オリジナルテキストスタイルを用いた芯のぶれないクリエイションを続けている。



帆足本家 富春館  
〒879-7761 大分県大分市中戸次 4381  
TEL 097-597-0002  
<http://www.hoashi-honke.com>

matohu



2019 春夏コレクション vol.2



種が大地に根差し、花を咲かせ、実となり土へ帰る。そして、新しい生命が芽吹き、成長を遂げていく。伝統を知り、未来へ向かうビジョンは、ファッションの新しい可能性を広げていく。グローバル化する現代の中で消えつつある大切なものを、コンテンポラリーなカタチに変えていく。その土地の風土に根ざしたオリジナルな美意識、歴史、文化を踏まえながら。

「ファッションを通じて生活文化を創造しながら、多様な豊かさを発信していきたい」と語る matohu デザイナーのお二人。昨年秋冬に続いて、第2回目の富春館展示会です。

2019年

5月10日(金) ~  
5月26日(日)

月曜定休

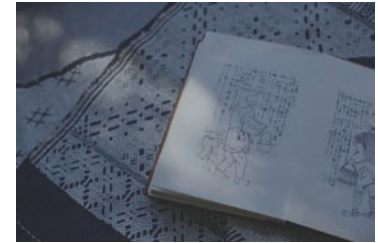
10:00 ~ 17:00

作家在店日 5月10・11・12日

# トークイベント「手のひらの旅・一 小さき衣」

堀畑裕之 × 関口真希子 聞き人 帆足めぐみ

津軽の伝統技術“こぎん刺し”は、麻の生地に綿糸を通して、繊細な幾何学模様を描く伝統の技。防寒と補強保温を目的として、農家の女性たちが考え出したものです。

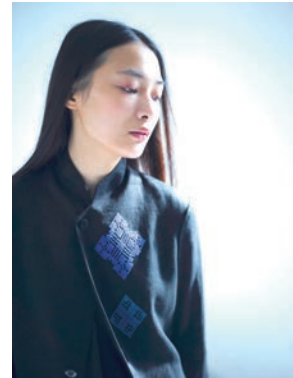


matohu デザイナーの堀畑氏と関口氏が青森県の現場を訪れ、その美しさに魅了されて、その美しい幾何学模様からインスピレーションを得たクリエイションです。

## お話の会では

- matohu のブランドコンセプト
  - 「日本の眼」シリーズより「うつくし」コレクションについての解説。
  - 青森、津軽に受け継がれる手仕事の技術に触れた「手のひらの旅」よりデザインのアイデアを膨らませていくストーリーなど。
- 美しい映像をご覧いただきながら、お二人から、どんなお話がとびだすか、私もとても楽しみです。夜は、お食事をいただきながら、matohu のお二人との交流会もごぞいます。  
お申し込みお待ちしております。

帆足めぐみ



## 2019年 5月10日(金)・11日(土)

14:30～15:30 参加費 会費 1,500円+税 お茶とお菓子付き 定員 25名  
18:30～20:30 食事会 会費 10,000円(税込) ドリンク付き 定員 25名  
料理 Bistro&Cucina Champi (シャンピ) 松竹祐介シェフと富春館

地元の採れたて野菜や旬の厳選素材をふんだんに使ったヘルシーなフレンチイタリアンです。ごぼうのお料理も！

参加申込み 帆足本家富春館 090-9596-3204 (帆足)

